

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

NFC所蔵外国映画選集2016

Foreign Films Selection from the NFC Collection 2016

2016年11月10日(木) - 11月23日(水祝)

特別上映

『日本南極探検』デジタル復元版特別上映会

Special Screening: Digitally Restored Version of
THE JAPANESE EXPEDITION TO ANTARCTICA

2016年11月24日(木) 3:00pm / 7:00pm

11月の休館日:

月曜日、11月1日(火)、11月7日(月) - 9日(水)

大ホール

各回の開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

料金:一般520円 / 高校・大学生・シニア310円 / 小・中学生100円 / 障害者
(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

発券=2階受付

- 観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。



東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo

n 長瀬映像文化財団

フィルムセンターは長瀬映像文化財団の支援を受けています。

NFC所蔵外国映画選集2016



Foreign Films Selection
from the NFC Collection 2016

2016

11

NFCカレンダー
2016年11月号

大ホール 上映作品

NFC所蔵外国映画選集
2016
Foreign Films Selection from
the NFC Collection 2016

このたびフィルムセンターでは、所蔵する外国映画の中から、これまで上映する機会が少なかった日本語字幕付きの12本の作品を上映します。トーキー初期から第二次世界大戦前夜の1930年代を中心に、東西冷戦時代に突入した1950年までの作品をセレクトしました。第一次世界大戦を描きヒトラー政権下のドイツで賞賛された潜水艦映画や、ソヴィエトの社会主義リアリズム路線を象徴する作品、サンテグジュペリ原作による恋と友情に満ちたフランスの航空映画、日本で初めて公開されたアルゼンチン映画、実体験を持つポーランド人女性監督による強制収容所の映画、戦後の新中国を代表するリアリズム作品など、ヨーロッパ、アジア、南米のさまざまな国で作られた映画を紹介します。これらの作品は、当時の政治や社会の変動をわれわれに伝えると共に、今日の映画のスタイルや問題意識とも響き合い、歴史や映画史をふり返ることの大切さを教えてくれることでしょう。これらの作品を35mmプリント(可燃性フィルムから不燃化して作製した2本のニュープリントを含む)で鑑賞できる稀少な機会に、皆さまのご来場をお待ちしています。

- ①=監督 ②=原作 ③=脚本・脚色 ④=撮影
- ⑤=美術 ⑥=音楽 ⑦=出演
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 上映作品にはすべて日本語字幕が付いています。
- 記載した上映分数は、当日のものとは多少異なることがあります。



F・P 1 號應答なし



最後の戦闘機

1 11/10(木)3:00pm 11/18(金)7:00pm

F・P 1 號應答なし (86分・35mm・白黒)

F. P. 1 ANTWORTET NICHT

技術師ドロステ(ハルトマン)は、大西洋上に中継飛行場として人工島「F・P 1号」を建設する。やがて洋上の都市として栄えるようになったこの島に危機が迫り、ドロステの友人である冒険飛行家エリッセン(アルバース)が救出に向かう。コンラート・ファイト主演の英語版、シャルル・ボワイエ主演の仏語版も同時に製作された。SFやファンタジー小説の書き手だった原作・共同脚本のクルト・ジオトマクは映画監督ロバート・シオドマク(ローベルト・ジオトマク)の弟。兄同様、亡命して1930年代後半にハリウッドへ渡った。

1932(ドイツ/ウーファ) ④カール・ハートル ④クルト・ジオトマク ④ヴァルター・ライシュ ④ギュンター・リッター、コンスタンティン・チェット、オットー・ベッカー ④エーリヒ・ケッセルハート ④アラン・グライ ④ハンス・アルバース、ジビツ・シュミツ、パウル・ハルトマン、ペーター・ローレ、ヘルマン・シュベールマン

2 11/10(木)7:00pm 11/19(土)1:00pm

朝やけ (83分・35mm・白黒)

MORGENROT

1915年、リーアス大尉(フォルスター)は北ドイツの故郷を出発し、Uボート第21号に艦長として乗船する。困難に遭いながらも戦果を挙げていた第21号だが、英国艦隊の民にはまり、窮地に陥る…。ドイツ国内ではヒトラーが首相になった翌日に封切られ、新たな世界大戦へと向かう空気の中で戦意高揚的に利用されたが、一方でこの映画は日本や米国などの各国で、抑制された写実的描写と、故郷の人々の陰影を持った人物像から、戦争の惨禍を描いた人道主義的映画との評価を集めた。NFC所蔵可燃性原画から不燃化作業を行い作製したニュープリントによる上映。

1933(ドイツ/ウーファ) ④グスタフ・ウチツキ ④エドガー・フン・シュビーゲル ④ゲルハルト・メンツェル ④カール・ホフマン ④ローベルト・ヘルト、ヴァルター・レーリヒ ④ヘルベルト・ヴィント ④ドルフ・フォルスター、アデーレ・ザンドロック、フリッツ・ゲンショウ、カミツラ・シュビラ、パウル・ヴェスターマイヤー

3 11/11(金)3:00pm 11/19(土)4:00pm

マクシムの青春 (96分・35mm・白黒)

ЮНОСТЬ МАКСИМА

同じレンフィルム製作の『チャパーエフ』(1934、ゲオルギ・ワシーリエフ、セルゲイ・ワシーリエフ)と並んで、1934年以降のソヴィエトの「社会主義リアリズム」路線を代表する映画。青年労働者マクシム(チルコフ)が、同僚が労働中に事故死したことに抗議してデモ活動に加わり、逮捕される中で職業的革命家として覚醒していく。1937年と1939年には続編が製作され、合わせて『マクシム三部作』として知られる。創作上の人物であるマクシムに対してファン・レターが殺到するほど、旧ソ連において絶大な人気を誇った。

1935(ソ連/レンフィルム) ④グリゴリー・コージンツェフ、レオニード・トラウベルク ④アンドレイ・モスクヴィン ④エフゲニー・エネイ ④ドミートリイ・ショスタコーヴィチ ④ボリス・チルコフ、ワレンティーナ・キバルディーナ、ミハイル・タルハノフ、ステパン・カウエコフ

4 11/11(金)7:00pm 11/23(水)1:00pm

最後の戦闘機 (103分・35mm・白黒)

L'EQUIPAGE

第一次大戦の前線で、モーリ(ヴァネル)は同乗者が必要死縁起の悪い操縦士だと言われていた。ただ一人若い偵察兵のジャン(オーモン)だけが、同乗者として志願する。一心同体のコンビとして強く結ばれていく二人だが、ジャンがかつて恋愛関係にあった女性(ほかならぬモーリの妻だった)…。『昼顔』(1967、ルイス・ブニュエル)の原作者でもあるジョゼフ・ケッセルの小説が原作で、最初の映画化はモーリス・トゥルヌール監督による無声映画『白銀の翼』(1928)。ケッセル自身も脚色に加わった本作は2度目の映画化となる。監督のリトヴァクは本作の後、1937年にも、ハリウッド・デビュー作としてこれをポール・ムニ、ミリアム・ホプキンス、ルイス・ヘイワード主演でリメイク(日本劇場未公開)した。

1935(フランス/パテ=ナタン) ④アナトール・リトヴァク ④ジョゼフ・ケッセル ④アルマン・ティラール ④リュシアン・アケタン、リュシアン・カレ ④アルチュール・オネゲル ④アナベラ、シャルル・ヴァネル、ジャン・ミュラ、ジャン・ピエール・オーモン

5 11/12(土)1:00pm 11/17(木)7:00pm

夜の空を行く (100分・35mm・白黒)

ANNE-MARIE

民間航空会社に勤める操縦士志望の女性設計技師、アンヌ=マリー(アナベラ)に、5人の操縦士がそろって心を惹かれ、かわるがわる操縦を教え始める。しかし彼女は風変わりな発明家(ウィルム)に思いを寄せていて…。フランス航空省の全面協力を得て撮影された、恋と友情の航空映画。監督は、歴史大作『狼の奇蹟』(1924)や『レ・ミゼラブル』三部作(1933)が高く評価されているレイモン・ベルナル。物語は、『夜間飛行』など数多くの航空小説で知られるサンテグジュペリがこの映画のために書き下ろした。

1936(フランス/オーレア・フィルム) ④レイモン・ベルナル ④アントワヌ・ド・サンテグジュペリ ④アンドレ・ラング ④ジュール・クリュージェ、マルク・フォサル ④ジャン・ペリエ、ジャン・ドボンヌ ④ジャック・イバール ④アナベラ、ピエール・リシャール・ウィルム、ジャン・ミュラ、ポール・アザイス、ピエール・ラブリ

6 11/12(土)4:00pm 11/18(金)3:00pm

地中海 (87分・35mm・白黒)

NITCHEVO : L'AGONIE DU SOUS-MARIN

サイレント時代からメロドラマや文芸映画で活躍したド・パロンセリ監督が、1926年に発表した作品をみずから再映画化。フランスの領海を守る潜航艇と、謎の武器密輸船との対決を軸に、登場人物のさまざまな過去が交錯する海洋冒険映画。『舞踏会の手帖』(1937)などのデュヴィヴィエ作品で知られる、潜航艇艦長役のアリ・ポールは、1943年、ゲシュタポに拘束・釈放されたのちに謎の死を遂げた。

1936(フランス/メガ・フィルム) ④ジャック・ド・パロンセリ ④アンドレ・ビュクレ、T・H・ロベール ④ジャン・バシュレ、アンドレ・ダンタン ④ジョルジュ・ウケヴィッチ、セルジュ・ピメノフ ④アルチュール・オネゲル ④アリ・ポール、マルセル・シャンタル、イヴァン・モジューヒン、ジョルジュ・リゴー、リゼット・ランヴァン、ジャン・マックス

7 11/13(日)1:00pm 11/17(木)3:00pm

誓ひの休暇 (87分・35mm・白黒)

URLAUB AUF EHRENWORT

ドイツの敗色濃い第一次大戦終盤、後方から戦線に復帰する兵士たちが、ベルリン駅で前線方面への列車を6時間待つことに。小隊長は独断で部下たちに自由行動を許すが、果たして彼らは出発時間までに戻ってくるのか。戦時の価値観を宣伝する国策映画だが、一方で、情感の描写の非凡さが米国などで高く評価された。日本には1941年に輸入されて公開の準備が進められていたが、小隊長の判断が軍規に反するという理由で検閲不許可となった。ソ連映画『誓ひの休暇』(1959、グリゴリー・チュフライ)とは別内容。

1938(ドイツ/ウーファ) ④カール・リッター ④キリアン・コル、ヴァルター・ブレイム ④チャルズ・クライン ④フェリックス・リュッケンドルフ ④ギュンター・アンダース ④ヴァルター・レーリヒ ④エルネスト・エーリヒ・ブーダー ④ロルフ・メービウス、インゲボルク・テーク、フリッツ・カンパース、ベルタ・ドレウス



黒い瞳の女

8 11/13(日)4:00pm 11/22(火)7:00pm

黒い瞳の女(75分・35mm・白黒)

LA VIDA ES UN TANGO

日本とアルゼンチンとの文化交歓事業の一環として、日本で初めて公開(1941年)されたアルゼンチン映画。タンゴに情熱を傾けた男女の物語。主演のウーゴ・デル・カールとサビーナ・オルモスは、どちらもラジオで人気歌手となってから映画界入りし、アルゼンチン映画を長くスターとして支えた。マヌエル・ロメーロは舞台演出やタンゴの作詞も手がけた人気監督で、ほかに『さらば草原』(1946)と『タンゴ』(1949, 別題『タンゴの歴史』)が日本公開されている。NFC所蔵可燃性ポジから不燃化作業を行い作製したニュープリントによる上映。

1939(アルゼンチン/ルミートン・フィルム)◎◎◎マヌエル・ロメーロ◎アルフレード・トラベルソ◎リカルド・J・コノルド◎アルベルト・ソイフェル◎ウーゴ・デル・カール、サビーナ・オルモス、フロレシオ・パラービシーニ、ティト・ルシアルド、アナ・マイ、エンリケ・ロルダン

11 11/16(水)3:00pm 11/20(日)4:00pm

からすとすずめ(112分・35mm・白黒)

鳥鴉と麻雀

戦後の新中国映画を代表する作品。1948年秋、上海の左翼映画人たちが、国民党政府崩壊の予感を抱きつつ撮影を開始。撮影用と検閲用の2種類の脚本を用意して政府の目をかいくぐりながら進め、翌年の人民解放軍による上海占領後に完成させた。国民党高官(李)が、自身が占拠する中古ビルの権利を売却しようとするのをきっかけに、中学教師の華夫妻(孫、上官)や闇屋の肖夫妻(趙、呉)などビルの住人たちが利己的に行動し始めるさまが、活き活きとしたリアリズムで描かれる。

1949(中国/崑崙影業公司)◎◎◎鄭君里◎◎◎陳白塵◎沈浮◎王林谷◎徐韜◎◎趙丹◎◎苗振華◎◎胡振華◎◎牛保霖◎◎徐慶◎◎王雲階◎◎魏鶴齡◎◎孫道臨◎◎李天濟◎◎黄宗英◎◎上官雲珠◎◎吳茵◎◎王蓓

9 11/15(水)3:00pm 11/20(日)1:00pm

嵐 ブルーム事件(111分・35mm・白黒)

AFFAIRE BLUM

1926年にドイツで実際に起きた、ユダヤ人商人に対する殺人容疑裁判を、『郷愁』(1935)等で知られるE・エンゲルが戦後の東ドイツで映画化。ワイマール期ドイツの反ユダヤ主義や腐敗した警察機構が、その後のナチス台頭を呼び込むものとして批判的に描かれる。無実の人間が追いつめられる恐怖が巧みに描かれ、サスペンス映画としても見ごたえがある。R・A・シュテムレは戦前から活躍する脚本家兼監督で、1962年には西ドイツのテレビ向けに本作をリメイクしている。

1948(東ドイツ/デーファ)◎◎◎エーリヒ・エンゲル◎ローベール・アドルフ・シュテムレ◎フリードリッヒ・ベーン・グルント、カール・ブリントナー◎◎エミール・ハスラー◎ヘルベルト・トラントウ◎パウル・ビルト、ハンス・クリスティアン・プレツヒ、クラウス・ベッカー、ゲルハルト・ビーネルト、マリー・デルシャフト、クルト・エーアハルト

12 11/16(水)7:00pm 11/22(火)3:00pm

白毛女(111分・35mm・白黒)

白毛女

舞台劇や歌劇にもなっていた民間伝承の初の映画化。喜兒(田華)は、父を自殺に追い込まれたうえ、婚約者の仲も裂かれて地主の屋敷に無理やり連れ込まれる。逃げ出して山に隠れた彼女は地主一家への復讐を誓う。やがて村には、山に白髪の仙女がいるという噂が流れ始める…。1930年代の農村を舞台に、虐げられた民衆の怒りを描いて大ヒットした映画で、喜兒を演じた田華は一躍人気女優となった。民謡調の歌が随所でヒロインの心情をうたいあげる。戦後日本で初めて公開された(1955年)中国映画でもある。

1950(中国/東北電影製片廠)◎◎◎王濱◎◎◎水華◎◎賀敬之◎◎丁毅◎◎楊潤身◎◎吳蔚雲◎◎盧滄◎◎羅維◎◎張魯◎◎趙路◎◎張守維◎◎田華◎◎胡朋◎◎李百萬◎◎陳強◎◎李壬林◎◎李波◎◎管林

10 11/15(水)7:00pm 11/23(水)4:00pm

アウシュウィッツの女囚(106分・35mm・白黒)

OSTATNI ETAP

第二次世界大戦中、アウシュウィッツ収容所に送られたマルタ(ドラビュスカ)は、通訳に任命されたため処刑をまぬがれる。監視役としてナチスに積極的に協力する者もいるなか、何人かの仲間たちとともに抵抗運動を組織するが…。女性監督ヤコフスカは、実際にアウシュウィッツに収容されていた。ホロコーストを主題とした映画の先駆けであり、強制収容所を描く多くの作品に、現在に至るまで影響を与えている。部分的にアウシュウィッツでもロケされた。カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭クリスタル・グローブ賞受賞、ヴェネツィア映画祭コンペティション部門出品。

1948(ポーランド/フィルム・ポルスキ)◎◎◎ワンダ・ヤコフスカ◎ゲルダ・シュナイデル◎ボリス・モナスティルスキー◎ロマン・マン、チェスワフ・ピアソフスキー◎ロマン・ハレステル◎ワンダ・バルトゥナ、タチアナ・ゴレッカ、アントニア・ゴレッカ、バルバラ・ドラビュスカ、アレクサンドラ・シュロンスカ



白毛女

特別上映

『日本南極探検』デジタル復元版
特別上映会

Special Screening: Digitally Restored Version of
THE JAPANESE EXPEDITION TO ANTARCTICA

11月24日(水) 3:00pm / 7:00pm

大ホール

開映後の入場はできません

定員=310名(各回入替制)

料金=一般520円/高校・大学生・シニア310円/
小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)、
キャンパスメンバーズは無料

発券=2階受付

- ・観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- ・発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達次第締切ります。
- ・学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- ・発券は各回1名につき1枚のみです。

白瀬隼陸軍中尉率いる南極探検の行動を記録した『日本南極探検』(1912)は、日本における長篇記録映画の嚆矢とされ、文化・記録映画史上の重要作品です。しかし1912年当時の作品は現存していないものとみられます。当館ではこれまで、後に再編集されたものと思われる341mのプリントを所蔵していましたが、平成19年度に文化庁に協力して行った『近代歴史資料緊急調査』を経て、かつて探検隊の支援者であった村上俊蔵(1872-1924)のご遺族が、851m(5巻・現存最長)の可燃性染調色ポジフィルムを所有していることを確認しました。複数のストックが繋ぎこまれた同ポジに直接穿たれた検閲番号(B21944)と『内務省検閲時報』との照合により、このフィルムは1940年に検閲を通過したものであり、長さもその当時の原形(857m)を留めていることが判明しました。そこで当館では、平成27年度に当該フィルムを不燃化し、最新のデジタル技術を用いて修復するとともに、フィルムに残された色味に従って新たに染色と調色を施しました。新しく甦った『日本南極探検』[デジタル復元版]を、どうぞお楽しみください。各回の上映前後には、当館研究員によるイントロダクションと講演が付きまます。

日本南極探検[デジタル復元版]

(49分・35mm・16fps・無声・白黒/染色/調色)

日本南極探検隊に派遣されたMパター商会技師、田泉保直が撮影した日本最古の長篇記録映画。後援会長の大隈重信邸での壮行会や、探検船・開南丸による芝浦埠頭出航の様子は広目屋活動写真部の撮影とされ、田泉自身が実際に撮影を担当したのは、解氷を待つシドニーに停泊していた第二次探検隊に合流以降のことである。探検隊員の顔ぶれや彼らがペンギンと戯れる姿、そして南極大陸上陸の模様から探検隊の帰港までが克明に記録されている。冒頭に3分の復元デモンストレーションを含む。

1912(Mパター商会)◎◎◎田泉保直

*不燃化・染色・調色:(株)IMAGICAウェスト

*デジタル修復:(株)IMAGICA

◆上映前のイントロダクション(約5分):
とちぎあきら(フィルムセンター主任研究員)

◆上映後の講演(約30分):
大傍正規(フィルムセンター主任研究員)

*講演のみの参加(無料)もできます。



| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----|-------------------------|-------------------------|---|-----------------------|--------------------|----------------------|
| 7 | | | 1 F・P 1號應答なし (86分) | 3 マクシムの青春 (96分) | 5 夜の空を行く (100分) | 7 誓ひの休暇 (87分) |
| | 誓ひの休暇 | | 2 朝やけ (83分) | 4 最後の戦闘機 (103分) | 6 地中海 (87分) | 8 黒い瞳の女 (75分) |
| 14 | 9 民 ブルーム事件 (111分) | 11 からすとすずめ (112分) | 7 誓ひの休暇 (87分) | 6 地中海 (87分) | 2 朝やけ (83分) | 9 民 ブルーム事件 (111分) |
| | 10 アウシュウィツの女囚 (106分) | 12 白毛女 (111分) | 5 夜の空を行く (100分) | 1 F・P 1號應答なし (86分) | 3 マクシムの青春 (96分) | 11 からすとすずめ (112分) |
| 21 | 12 白毛女 (111分) | 4 最後の戦闘機 (103分) | [特別上映会] 3:00pm 日本南極探検 (49分) *上映後に講演あり | | 展示室・図書室は開室 | |
| | 8 黒い瞳の女 (75分) | 10 アウシュウィツの女囚 (106分) | [特別上映会] 7:00pm 日本南極探検 (49分) *上映後に講演あり | | 展示室は開室 | |

展示室(7階)

[企画展]

戦後ドイツの映画ポスター
Postwar German Posters for Films

2016年11月15日(火)～2017年1月29日(日)
*月曜日、12月26日(月)～1月3日(火)は休室。

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター
京都国立近代美術館
後援：駐日ドイツ連邦共和国大使館
協力：ドイツ映画研究所(DIF)
サントリーホールディングス株式会社
Goethe-Institut / ドイツ文化センター

第二次大戦後、東西に分断されたドイツは、映画界も別々の道を歩むことになりました。そうした映画文化の分岐はポスターにも及び、西ドイツではアート系映画の配給会社が若手デザイナーを起用し、鮮烈なポスターが制作されました。一方東ドイツでは、独自の社会主義的な映画文化のもと、宣伝美術の枠に囚われない自在な表現が生み出されます。京都国立近代美術館との共催により、85点の作品を通じて「鉄のカーテン」の両脇で花開いた二つのグラフィズムを紹介します。

*詳細は当該チラシまたはフィルムセンターのホームページをご覧ください。



『七年目の浮気』(1955年/アメリカ/ビリー・ワイルダー監督)ポスター：フィッシャー＝ノスピッシュ(1966年) サントリーポスターコレクション(大阪新美術館建設準備室寄託)

[常設展] 企画展に併設

NFCコレクションでみる
日本映画の歴史

Nihon Eiga: The History of Japanese Film
From the NFC Non-film Collection
[Captions in Japanese and English]

開室時間＝午前11時～午後6時30分(入室は午後6時まで)
料金(企画展・常設展共通)＝一般210円(100円) / 大学生・シニア70円(40円) / 高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATパスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料
*()内は20名以上の団体料金です。
*学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。
*フィルムセンターが主催する上映会をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

NFC Digital Gallery
NFCデジタル展示室 Digital Gallery
下記ホームページからお入りください
<http://www.momat.go.jp/fc/digitalgallery>

常設展ギャラリートーク
毎月第一土曜日12時より(休室の場合は第二土曜日)
11月5日

図書室カレンダー

赤字は休室日

11月

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | | | | |

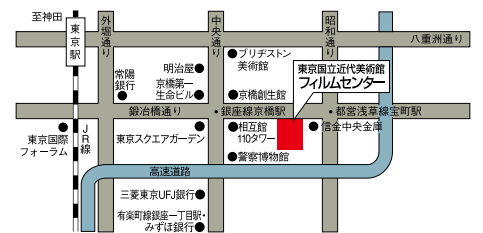
図書室(4階)

開室＝火曜日～土曜日(午後0時30分～午後6時30分) / 入室は午後6時まで) 閉室＝休館日および日曜日・祝日

2階受付では、「NFCニューズレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルムアーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6
▼交通：
東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ：ハローダイヤル03-5777-8600
NFCホームページ：
<http://www.momat.go.jp/>